

自宅で出来るオイル抜き

ボウリング マイボールは何時でも最高の状態を維持する！

マイボールの手入れの方法としては

- 1.投球後、クリーナー等で拭く（ボウリングの後に皆さまが普段やっていること）
- 2.ボールが吸い込んだオイルを抜く（オイル抜き）
- 3.ボール表面を研磨する（研磨）ボウリング場に頼みましょう！自分では出来ないと思います(^^)

投球後にボールを拭くのはいいとして、オイル抜きについて。

オイル抜きですが、ボウリングのレーンにはレーンコンディショナーというオイルが塗布してあります。

レーン保護が目的ですが、ボールの動きにも大きく影響してきます。このオイルをボウリングのボールは吸収してしまいます。

ある程度吸収してしまうと表面に浮き出てきます。

定期的にオイル抜きをしてやると良いでしょう。熱を加えれば簡単に抜けますが、熱を加えすぎると表面にヒビが入ったりします。

センターにオイル抜きの機械がありますので（有料ですが安全）頼むのが一番良いと思いますが、

一回 2000円は痛いというあなたへ

自宅でできる方法を伝授（某 お客様にオイル抜きのやり方〜♪ 教えて〜とせがまれたので）（笑）このページができました。

NEWボールは、ビックリする程曲がり、すばらしい動きをするものです。

しかし、ハイパフォーマンスボールほど、レーン上のオイルを吸収していきます。

オイルを吸収すればする程、ボールの動きは鈍くなっていき、だんだんとボールの動きが衰えていきます。

そのうえ、ボールにオイルが吸着すると投球時のミス投球にもつながります。

投球時 手が滑る（(^^とと思ったら 手軽に自宅でできるオイル抜きの方法です。（*^^）v

温め過ぎるとボールが割れたり、ヒビが入ったり、劣化してしまうので、注意が必要です。

温め過ぎてボールが真っ二つに割れたなんて話も聞きます。特にストロブの前に置いてのオイル抜きは注意が必要です♪

一定方向のみ温めすぎると、必ず割れます。（要注意）

カバーストックの種類によっては、ボールの性能を落としてしまう事が有るのであまり薦められません。

お手軽オイル抜き「お風呂編」

と言っても、お風呂と一緒に入るわけではありません（念のため）

手順

- 1：60度〜70度弱（手を入れてちょっと熱いくらい）のお湯を準備します。
- 2：大き目のバケツ（使い捨て用に100均で買ってこよう）にボールを入れます。
- 3：ボールの入った大き目のバケツお湯を注ぎます。
- 4：しばらくするとボール表面からオイルがしみ出てきて、ボールに触るとヌルヌルしたり、お湯の表面にオイルが浮いてきます。
- 5：しばらくしたら、お湯を捨てて、ボールを取り出して、表面に浮いたオイルを布で拭き取ります。
めんどくさいと思う人は、数回（5分〜10分毎）お湯を継ぎ足しながら、オイルの浮いたお湯を流しましょう
- 6：数回 お湯を注ぎオイルが出てこなくなるまでこれを繰り返します。
- 7：仕上げに表面をボールクリーナーで磨きます。

ある程度オイルが抜けると、ボールを触った時にギョツ、ギョツとした触り心地になります。これでOK（^v^）

お試しあれ〜♪